



令和5年度

まにわ

真庭市議会
市民と語る会

ぜひお越しください。お待ちしております

2019年 久世東町住宅

4年ぶり

平成30年 月田公民館

2019年 旧上田小学校

2019年 社コミュニティハウス

11月5日(日)～15日(水) 市内12会場 詳しい日程は、

8ページに掲載しています 今回は議会報告はございません

9

月定例会

会期 9月5日～9月26日

9月議会の会議録は12月上旬、ホームページおよび
議会事務局で閲覧できます

【主な内容】

今回の一般質問は17人

- 補正予算4件を可決
- 議案20件を可決
- 決算12件を認定
- 発議2件を可決
- 請願1件を採択、陳情1件を採択

令和5年度9月補正予算

2億6,047万3千円を可決しました

	9月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	2億5,969万円	352億1,718万円	5.6%増
特別会計	78万円	125億7,623万円	0.6%減
公営企業会計	0万円	76億8,039万円	1.8%増

令和5年度補正予算 会計別集計表

(単位：万円)

会計名	9月 補正額	補正後 予算額
一般会計	25,969	3,521,718
国民健康保険特別会計	0	501,489
後期高齢者医療特別会計	0	79,593
介護保険特別会計	0	650,881
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	0	5,294
浄化槽事業特別会計	0	4,878
津黒高原観光事業特別会計	32	2,926
クリエイト管谷事業特別会計	46	935
温泉事業特別会計	0	11,627
特別会計合計	78	1,257,623
水道事業会計	0	231,567
下水道事業会計	0	352,044
国民健康保険湯原温泉 病院事業会計	0	184,428
公営企業会計合計	0	768,039
合計	26,047	5,547,380

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じて
いる箇所があります。

森脇委員長

西田副委員長

正予算に46万円を計上しています。

じく、津黒高原観光事業特別会計補正予算に32万円、クリエイト管谷事業特別会計補正予算に46万円を計上しています。また、令和4年度の物価高騰の影響を踏まえた指定管理料の算定により、1,801万円を計上しています。同じく、津黒高原観光事業特別会計補正予算に32万円、クリエイト管谷事業特別会計補正予算に46万円を計上しています。

計上。令和5年8月に発生した台風7号豪雨災害に伴う災害復旧関連事業として、災害復旧費1億315万円、農林水産業費1,063万円、土木費3,488万円を計上しています。また、令和4年度の物価高騰の影響を踏まえた指定管理料の算定により、1,801万円を計上しています。同じく、津黒高原観光事業特別会計補正予算に32万円、クリエイト管谷事業特別会計補正予算に46万円を計上しています。

一般会計 主な歳出

令和5年7号豪雨災害復旧関連事業
1億4,866万円増額

国等の補助事業採択による事業、来年度の事業実施に向けた事前調査事業、令和5年7号豪雨災害に伴う災害復旧関連事業を増額しています。総務費では、真庭高校久世校地の利活用検討を行う林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン構想推進事業に928万円を計上。民生費では、高齢者施設の防災・減災対策を支援する地域介護・福祉空間整備等補助金3,080万円を計上。令和5年8月に発生した台風7号豪雨災害に伴う災害復旧関連事業として、災害復旧費1億315万円、農林水産業費1,063万円、土木費3,488万円を計上しています。また、令和4年度の物価高騰の影響を踏まえた指定管理料の算定により、1,801万円を計上しています。同じく、津黒高原観光事業特別会計補正予算に32万円、クリエイト管谷事業特別会計補正予算に46万円を計上しています。

請願

インボイス制度の
実施再考

【不採択】

国に対して「消費税インボイス制度の実施再考を求める意見書」についての請願が提出されました。

審査の結果不採択となりました。

【討論あり】

反対討論 伊賀基之議員

消費税は逆累進性が高く、売上高一千万円以下の小規模事業者には事業者免税点制度があり、インボイス導入はそれを実質的になくそうということである。消費税を価格に上乗せできなければ事業継続の瀬戸際である。インボイス再考を求める請願は採択すべきである。

議案
主な
内容

指定管理者決まる

真庭市の施設を管理運営する、指定管理者が決まりました。指定期間は、全て令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間です。

指定管理者制度とは 地方公共団体（市）が住民の福祉を増進する目的で設置した、公の施設の管理運営を市が指定した民間事業者を含む法人・団体に行わせる制度。民間の活力を導入し自治体の経営改善を図る目的で、平成15年から始まった制度です。

▼北町公園・宮芝公園・真庭やまびこ公園（非公募）
指定先Ⅱ（一財）真庭スポーツ振興財団



蒜山高原自然広場 蒜山上長田

▼道の駅風の家・三木ヶ原ふるさと特産館・真庭市ベアバレスキー場・蒜山ハーブガーデンハービル・そばの館（公募）

指定先Ⅱ（株）グリーンピア蒜山

▼ワイン醸造販売所・特産品加工所（非公募）

指定先Ⅱひるぜんワイン（有）

▼真庭市蒜山ヒルズ・自然牧場公園（公募）

指定先Ⅱ（株）アストピア蒜山

▼真庭市八束ふるさとふれあい特産館（公募）

指定先Ⅱ（株）蒜山グリーンフイット

▼真庭市郷原漆器の館（公募）

指定先Ⅱ郷原漆器発展会

▼蒜山堆肥センター（公募）

指定先Ⅱ（一社）蒜山農業公社

▼真庭市蒜山高原自然広場

・真庭市スポーツ施設（蒜山高原スポーツ公園及びB&G海洋センター）・真庭市蒜山高原自然広場サイクリングターミナル・真庭市蒜山快湯館（公募）



交流体験施設匠蔵 勝山

指定先Ⅱ（株）アストピア蒜山

▼真庭市蒜山高原ライディングパーク（公募）

指定先Ⅱ（株）ノア

▼落合総合公園（非公募）

指定先Ⅱ（一財）真庭スポーツ振興財団

▼真庭市道の駅醍醐の里（公募）

指定先Ⅱ（有）醍醐の里

▼真庭市勝山健康推進施設

水夢（非公募）



下湯原温泉ひまわり館 下湯原

指定先（一財）真庭スポーツ振興財団

▼真庭市交流体験施設匠蔵（公募）

指定先Ⅱ特定非営利活動法人勝山・町並み委員会

▼真庭市ひまわり館・下湯原温泉露天風呂（公募）

指定先Ⅱまにわ日本蜜蜂企業組合

▼湯原温泉駐車場・向湯原駐車場（非公募）

指定先Ⅱ（一社）湯原観光協会

組合

指定先Ⅱ（一社）湯原観光協会

組合

指定先Ⅱ（一社）湯原観光協会

賛成討論 黒川愛議員
「困る」という声をたくさん聞いた。インボイス番号を取った人も困っている。市民の切実な声に、耳を傾ける必要がある。当事者だけの問題でもない。独立した個人の仕事、中小業者の仕事を守ることも、中山間地域で生きる私たち一人ひとりの暮らしの継続に繋がる。

賛成討論 妹尾智之議員

インボイス制度の導入は、平成28年度税制改正で決定している。複数税率が採用される場合、適正かつ円滑な施行に資する観点から、免税事業者からの仕入税額控除を排除し、税額を明記した請求書の保存を求める「インボイス方式」にする必要がある。10月からの導入へ再考には無理があり、委員長報告の通り不採択へ賛成する。

賛成討論 森脇正和議員

平成28年度税制改正で消費税率引き上げ時にインボイス方式を導入する決定がなされた。平成28年11月、消費税率の引き上げを令和元年10月、インボイス方式を令和5年10月に再延期。

この間、今回の請願提出機会はいくらでもあった。よって、不採択に賛成する。

決算

令和4年度



決算審査特別委員会は、9月12日の本会議で付託された令和4年度真庭市一般会計決算の認定のほか、特別会計、企業会計、計12件について9月19日、20日に審査しました。その概要についてお知らせします。

一般会計歳出決算額 335億1,673万円 19億6,825万円の黒字

一般会計と特別会計の決算状況

令和4年度の一般会計及び特別会計を合わせた決算額は、歳入479億8,656万円、歳出は456億5,460万円であり、差引額は23億3,196万円の黒字となりました。一般会計、特別会計、企業会計決算12件はいずれも認定となりました。

一般会計歳入一覧表

(単位：万円)

会計名	歳入済額	構成比率
市税	529,868	14.9
地方消費税交付金	106,527	3.0
地方交付税	1,462,171	41.2
分担金及び負担金	19,763	0.6
使用料及び手数料	32,531	0.9
国庫支出金	439,103	12.4
県支出金	159,237	4.5
繰入金	77,077	2.2
繰越金	156,108	4.4
諸収入	54,931	1.5
市債	382,448	10.8
その他	128,734	3.6
合計	3,548,498	100.0

一般会計歳出一覧表

(単位：万円)

会計名	歳出済額	構成比率
議会費	23,196	0.7
総務費	357,931	10.7
民生費	791,047	23.6
衛生費	460,365	13.7
農林水産業費	183,913	5.5
商工費	142,442	4.2
土木費	276,992	8.3
消防費	143,876	4.3
教育費	326,527	9.7
災害復旧費	13,650	0.4
公債費	528,842	15.8
諸支出金	102,892	3.1
合計	3,351,673	100.0



特別会計歳出

121億3,787万円
3億6,371万円の黒字

特別会計歳入一覧表

(単位：万円)

区分	歳入決算額
国民健康保険	490,343
後期高齢者医療	75,333
介護保険	657,805
介護保険(介護サ)	5,217
浄化槽事業	5,365
津黒高原観光事業	3,351
クリエイト菅谷事業	1,787
温泉事業	10,957
合計	1,250,158

特別会計歳出一覧表

(単位：万円)

区分	歳入決算額
国民健康保険	488,212
後期高齢者医療	75,234
介護保険	625,163
介護保険(介護サ)	5,056
浄化槽事業	5,261
津黒高原観光事業	3,339
クリエイト菅谷事業	1,787
温泉事業	9,735
合計	1,213,787

基金

(単位：万円)

区分	決算年度末 現在高
財政調整基金	977,311
減債基金	295,095
土地開発基金	40,549
未来を担う人応援基金	97,296
振興基金	348,693
情報化施設整備基金	90,711
ふるさと真庭応援基金	33,370
真庭市立学校施設整備基金	37,003
真庭市認定こども園等施設整備基金	31,709
公共施設整備等基金	1,196,407
旧豊喜尋常小学校整備活用基金	18,124
国民健康保険事業基金	81,439
その他	84,767
合計	3,332,474



「まにこいん」は真庭市限定で使える、スマートフォンのアプリを使ったデジタル通貨です。令和5年1月5日より運用を開始しています。

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります

「地方財政の充実・強化に関する陳情書」が提出されました。審査の結果全会一致で採択し、意見書を衆参両議長など10人に提出しました。

地方財政の充実・強化

採択

陳情

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるため2024年度政府予算に係る意見書採択の請願についてが提出されました。審査の結果全会一致で採択し、意見書を衆参両議長など6人に提出しました。

教職員定数改善

採択

請願

賛成した議員 議席番号順
緒形 尚 加藤 大悟 浅野 和昭
吉原 啓介 柴田 正志 妹島 弘和
森田 敏久 大月 説子 伊藤 義則
福島 一則 氏平 篤正 西田 文子
長尾 修 入澤 廣成 庄司 史郎
妹尾 智之 岩本 壮八 古南 源二
中尾 哲雄 森脇 正和
反対した議員 議席番号順
黒川 愛 伊賀 基之

総務常任委員会

本委員会は、6月21日、8月23日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《市長直轄組織》

■退職自衛官の採用

危機管理課から退職自衛官の採用について説明がありました。

今年度、陸上自衛隊で培った防災の専門知識や経験を有する人材を、自治体が雇用する仕組み「地域防災マネージャー制度」を活用し、退職自衛官1名を採用する。

この制度は、防災監等に必要な知識や経験を有する者を、内閣府が地域防災マネージャーとして証明し、その証明書保有者を採用した地方公共団体は、採用者の人件費が特別交付税の対象となるという制度である。

採用時の役職は、参事級となり、採用年月日は8月3日を予定している。

担当業務としては、平常時は、地域防災計画の見直しや防災会議、防災訓練の計画や実施などで、災害等の発生時には、対策本部の運営の中心として、



地域防災マネージャー 辞令交付式

業務に当たっていただきたいと考えている。

問 日常の業務で担ってもらおうというのは、具体的にはどういうことになるのか。

答 主な業務として、平常時は地域防災計画や国民保護計画等、また災害時の出動マニュアルや業務継続計画などの真庭市に合った計画に見直すというようなことを考えている。また、防災訓練等の計画をし、それを実施につなげていくというようなこともやってもらうように考えている。

《総合政策部》

■真庭高校久世校地の跡地活用

総合政策課から真庭高校久世校地跡地活用について、説明がありました。久世校地が今年度で落合校地と統合する。市としては久世校地跡地の利活用の検討を進めていく。

まちづくりの拠点や、第一次産業の振興拠点、学びや子育ての拠点等が、イメージづくりの検討の案として想定をしている。できる限り民間等の参入を進めたい。

事業や、企画等をまとめ、どういった形で活用できるかを考えていく。

関連事業としては、森林林業教育、研究拠点構想などがあるので、そういったことと歩調を合わせながら、進めていく。

業務の流れはまずコンセプトやゾーニングの案を市内企業、大学等の外部有識者を含む庁内検討会議で検討していく。今年度中に基本方針を策定していきたいと考えている。

利活用の検討については、官民連携事業なども含めて、非常に専門的な知

委員長	加藤 大悟	委員	小田 康文
副委員長	西田 文子	委員	庄司 史郎
委員	岩本 壮八	委員	長尾 修
委員	緒形 尚	委員	中尾 哲雄

『まにわのまち・未来づくりのイメージ』 まにわの将来を見据えた『まちと未来づくりの拠点』を目指して



見を要する事業になるので、慎重に色々な方の御意見を聞きながら進めたいと考えている。

スケジュールについては7月から検討会議を庁内で立ち上げて、ある程度コンセプトを検討しながら、広く事業者と市民の方に意見を聞いていくという予定になっている、などの説明がありました。

文教厚生常任委員会

本委員会は、6月22日、8月22日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《健康福祉部》

■はぐくみサポーター派遣事業

健康推進課からはぐくみサポーター派遣事業について説明がありました。妊娠期から産後1年以内、心身ともに負担の大きい産前産後をサポートし、家事や育児に支援を必要とする方を対象に、市が実施する養成講座を受講したサポーターの派遣を行っている。令和5年度から利用回数の上限を30回に拡充し、令和4年度と比較して今年度は約2.5倍に増加している。

約6割が育児支援、約4割が家事支援である。令和4年度の利用時期は、妊娠期が9件、産後1カ月までが10件、産後1カ月から2カ月までが30件。少しずつ利用件数は少なくなっているが、1歳まで一定数の利用がある。

また、サポーターについては、養成講座を平成28年度から行っており、受講後のサポーター登録者が32名である。

。今後のニーズに対応するため、サポーターの更なる養成が必要であり、新規養成講座を計画していると説明がありました。

問 サポーター登録者が32名であるが、何名が活動しているのか。

答 令和4年度の活動状況では32名中、半数が活動している。中には、常勤勤務の人や、利用者との日程が合わない場合もあったが、利用者にできるだけ距離が近い人で、同じサポーターに担当していただいている。

《生活環境部》

■「チョイソコまにわ」実証運行

くらし安全課から、「チョイソコまにわ」の実証運行について説明がありました。

10月から新しい公共交通「チョイソコまにわ」を落合・久世・勝山（一部地域除く）で実証運行を開始する。運行エリア内で371か所（8月10日時点）の停留所を設置し、今後も利用状況やスポンサー状況に応じて停留所を増やしていく。9月中には、停留所の

委員長 妹島弘和
副委員長 黒川愛
委員 浅野和昭
委員 伊賀基之
委員 氏平篤正
委員 大月説子
委員 古南源二
委員 福島一則



市のポスターから▶

看板設置を進め、事前に利用者登録を行い、ネット若しくは電話での予約である。実証運行開始後も利用者アンケート等と、意見を聞き、またスポンサー企業の獲得も引き続き行い、充実に図っていきます。

《教育委員会》

■小中学校に自動応答電話の設置

学校教育課から、小中学校における自動応答電話の設置について説明がありました。

9月から市内全校に自動応答電話を設置する。設置の目的は、勤務時間外の電話対応を自動応答に変えることで、授業準備等の業務に集中する時間を確保し、学校の働き方に対する意識を高めていく。電話対応時間外に、欠席や遅刻等がある場合は、同じく9月から運用開始するプッシュ型アプリ「CODMON」を利用してもらうとのこと。



正副委員長が交代

10月12日付けで妹島弘和委員が委員長に就任しました。8月10日付けで黒川愛委員が副委員長に就任しました。

産業建設常任委員会

本委員会は、6月23日、8月10日、8月24日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《産業観光部》

■広葉樹の付加価値の向上に向けた取組

林業・バイオマス産業課から、「広葉樹の付加価値の向上に向けた取組」について説明がありました。

広葉樹の利活用の現状は、バイオマス発電所への燃料利用を促進しているが、売電価格がFIT制度で固定されていることから、燃料単価の向上というものは期待出来ない。こうした中、広葉樹を主に活用している国内の家具メーカーを中心に、国産広葉樹のニーズが高まっているが、市内の広葉樹が用材として活用された例は少ない。

このようなニーズを踏まえ、昨年度、オムロンソーシアルソリューションズ株式会社と連携し、川下の家具メーカー等と、川上・川中をつなぎ新たな流通の構築が出来ないかといった実証事業に取組んだ結果、用材としての



オムロンとの協定式

活用や単価アップなどの可能性の確認をしている。将来的には川上の伐採業者、川中の製材業者、川下の家具メーカー等が複数連携していく体制を構築して、広葉樹利用の新たな経済循環が生まれるよう、体制を整備していきたいと考えているとのこと。

問 オムロンは、どのような立場なのか。

委員長 柴田 正志 委員 妹尾智之
副委員長 森脇 正和 委員 森田敏久
委員 伊藤義則 委員 吉原啓介
委員 入澤 廣成

答

彼らとしては川下の需要をまず開拓し、それをある程度把握してから、川上・川中と繋がるサプライチェーンを構築、システム化するのが、最終的な目標である。

これは市内の山主、素材生産業者、製材所にメリットのあるデータとなる。

《産業観光部》

■台湾観光客の誘致推進

産業政策課から、台湾観光客の誘致推進について説明がありました。

3月に運行が再開された岡山台北線が、5月からは週7便の毎日運行になり、8月には、岡山県知事が台湾にて現地旅行会社やメディア関係者に観光セミナーを行った。それを契機に、県北最大の観光地である真庭市としても、真庭観光局とともに、インバウンド対策の一環として、観光再始動を図り、来訪者の拡大に向けて、台湾での観光プレゼンテーションを行う。

日程は10月12日から14日で台湾を訪問し、現地旅行会社、新聞社、テレビ局関係者などを招待し、真庭市長や真

庭観光局によるツアーの売り込み、観光プレゼンテーション、真庭産品等の試食提供を行い、台湾観光客の誘致につなげたいと考えている。

問

誘致推進は良いことであるが、真庭市の観光地での多国語の表示とか、洋式トイレの設備等はどうなのか。

答

看板の外国語表記は、看板等を調査して、必要なものは、外国語表示をしていきたいと考えている。トイレの洋式化は、先般のコロナ対策等のときに、必要などころは概ねできていると認識している。



台湾での観光プレゼンテーション

一般質問

9月定例会の議事録は
12月上旬から閲覧できます
一般質問の記事は、800字以内で質問
した議員本人がまとめています

伊賀基之

問

市道の改良・
長寿命化を図るべき



答 太田市長

山間部に住む住民にとって市道は唯一の道路であり、大切なインフラである。狭い市道でガードレールのないことも多い。現状維持の予算では改良は進まない。思い切った施策が必要と思う。

道路の維持管理・新設改良・橋梁維持の予算は、きちつと確保している。



太田昇市長



三ツ宗弘教育長

緊急的に必要なこと、安全施設例えばガードレールについても、全部つけるわけ

問

物価高騰の中での
農業支援を

にはいかな
いが対応す
る。物価高
騰で工事が
減ることに
は、必要な
対応はする。



狭い市道

答

石井産業観光部長

中国電力の農事用電力料金は6月から15%値上げである。ガソリンは1ℓ180円を超え、農薬や肥料も高騰している。米価低落の稲作について、意欲を持って継続できるための支援策が必要ではないか。

地域の資源を使って、価格高騰の影響を受けづらい弾力的な経営を作っていく政策を、まずは打っていかねばならない。緊急的なものは、国・県の動

問

中学校へ通級指導
教室の設置を

向を注視しつつ対応していく。

通級指導教室は、小学校には設置されているが中学校にはない。通級指導は、通常学級で学びながら、専門的な支援を受けることができる良い制度である。津山市では、中学から初めて通級を利用した生徒が、小学校からの継続者の1.5倍いる。中学生や保護者に意向調査をし、希望があれば、少人数でも設置すべきと考える。

答

三ツ教育長

広域の真庭市では、巡回指導方式の導入について、現在検討をしているところである。今後改めて教育的なニーズの把握をし、県との調整を行っていく。

日時 会場 班

令和5年11月

- 5日(日) 13:30
皆部中部憩いの家 2班
- 5日(日) 18:00
下見集会所 2班
- 6日(月) 19:00
原コミュニティハウス (旧八束村) 3班
- 11日(土) 10:00
落合人權・福祉センター 3班
- 11日(土) 18:00
落合振興局 1班
- 12日(日) 13:00
月田公民館 1班
- 12日(日) 14:00
真庭市農業構造改善センター (旧富山小学校) 2班
- 12日(日) 18:00
二川みらいセンター 1班

日程
市民と
語る会
2023

真庭市政について

みんなで話そう

申込みは不要です

- 13日(月) 19:00
栗原コミュニティハウス 4班
- 14日(火) 19:00
草加部小学校 4班
- 15日(水) 19:00
高仙の里よの 3班
- 15日(水) 19:00
旧水田小学校ミーティングルーム 4班

担当班(出席議員) ◎班長 ○副班長

- | | | |
|------------------|---------------|--------------|
| 1班 ◎伊賀基之
妹島弘和 | ○中尾哲雄
森脇正和 | 小田康文 |
| 2班 ◎緒形 尚
妹尾智之 | ○古南源二
西田文子 | 伊藤義則
福島一則 |
| 3班 ◎氏平篤正
長尾 修 | ○岩本壮八
森田敏久 | 黒川 愛
吉原啓介 |
| 4班 ◎入澤廣成
大月説子 | ○加藤大悟
柴田正志 | 浅野和昭
庄司史郎 |

西田 文子

問

チョイソコまにわ
実証運行スタート



新たにA・オンデマンド交通システムチョイソコの実証運行が10月2日からスタートとなり、交通弱者は、利用しやすい移動手段に期待している。

会員登録は、市内に在住、滞在する小学生以上は誰でも会員になれるのか。また、停留所は集会所がごみステーション以外で、家の近くに設置してもらえないのか。

エリアスポンサーのメリットと、利用者が行きたい所にスポンサーになって頂く努力はするのか。チョイソコの運行にはどの程度の経費がかかる見込みか。



チョイソコまにわ 本庁舎前

答 太田市長

真庭市における移動をどうしていくのか、重要な課題だと思う。今のまにわくんを含め、広域交通体系で成果が出ているが、満足しているわけではない。

会員登録は小学生以上ではどなたでも可能である。関係人口を含め、どんどん利用していただく。停留所は基本的には1自治会1停留所とお願しているが、ドア・ツー・ドアのニーズに近づけ、利用

状況とか要望を精査し、バランスを取っていきたい。

エリアスポンサーの獲得は、停留所設置や宣伝活動のメリットはあるが、チョイソコまにわの意義を理解してスポンサーになっていただくよう対応していく。

運行に関する経費は2,500万円程度と試算しているが、スポンサーが多いか少ないか、利用がどうかで違ってくる。ぜひ多くの方に乗ってもらい、利便性が増すようにしていきたい。

長尾 修

問

蒜山高原SA内で
高速バスの乗降を



新型コロナウイルス類に移り人の移動が活発になってきた。高速バスの本数も徐々に回復してきており、米子道を走る本数は20数便あり、そのほとんどが蒜山高原SAでトイレ休憩している。数年前、SAで乗降できるよう市長に同行し国土交通省、ネクスコ西日

答

太田市長

本本社、中国支社に幾度となく要望したが、エリア近くに市が自前で停留所を造るのはよいが、エリア内にはと難色を示された。利用促進の観点からも、交流人口を増やす施策を関係自治体と連携し、国交省、ネクスコ、バス会社に要望できないものか。



蒜山高原 SA 上り 蒜山西茅部

議会と一緒に
なって関係のところが何回も行っているが、むしろ状況は悪化している。運転手が不足している、儲かる路線からやっっていく、そういう中で苦戦している。引き続き粘り強くやっっていく。代替えということにはならないが、本年10月から11月中旬までの土日祝日、中鉄北部バスと共同で高速バス岡山勝山線を、蒜山高原まで延伸する実証運行を行うて、需要があるよというのをこちらも作り出したい。関係人口を増やしていくということ、そして真庭市から都市に出ていく方の交通弱者対策、観光面とか、いろいろ含めてメリットがあるので、高速道路を使った長距離バス、高速バスの充実を図るべく、これからの一生懸命努力していく。

古南源二

問

市の所有する空き地



市内にはママの別荘であった所、中学校であった所、自動車学校に使っていた所など生い立ちはいろいろであるが、10年以上にわたり草刈りをするだけでなにも利用していない所がある。売却するなり、太陽光発電であるとか、バイオマスに利用できると成長の早い樹木を植栽すると



活用提案を募集している看板

かなんとか利用を考えたらどうか。遊休地には看板を掛けられていると聞くと、利用募集の看板はあるが売却の看板はない。

答 太田市長

合併後の施設再編によるものなど、まとまった土地として売っていききたいというようなものが30か所くらいある。市民の共有の財産であるから、必要なものは使うし、いらぬものはもう処分するし、管理費用がもつたいない。多面的多角的な検討をしている。

活用提案募集とかいうわけのわからない看板はやめろと言っている。売るなら売却しますと相談を！というように。三阪の残土捨て場を見て、緑化しか使えないかという思いだが、そういうものを含めてどういう事ができるのか所管部署で検討を続けていく。

問

子育て支援の財源

子どもの出生率の高いといわれる自治体では、子育て支援の中でも財源に過疎

債を充当していた。過疎債は算入率が70%もあり財源としては比較的有利な条件と思うが考えてみてはいかがか。

答 太田市長

過疎債事業のソフト分を増やしていくとか安易に使うのは反対だ。財政秩序を考えながら使っていきたいし、真庭市の場合はそこまでしなくてもそれなりの財源は確保する覚悟でいる。提案は提案として、活用するものは活用していく。財政秩序ということも考えなければならぬ。

入澤 廣成

問

堆肥、バイオ液肥で農業基盤の整備



ウクライナ情勢により食料

原油価格は大きく変わった。農業資材、特に肥料の高騰は2倍以上の製品もある。そうした中、中国は自国の食料自給率を上げるためリン鉱石の輸出を制限した。我が真庭市の農業を考えると化学肥料に頼らず、堆肥、バイオ液肥を

有効に利用し、5年10年先の強固な農業基盤を築いていかなければならない。蒜山堆肥センターの製造する年間約800トンを利用促進のため堆肥散布料金を市が負担できないか。

また、補助金が出ても販売量が増えないのは農業団体、農業法人、認定農業者、作付け面積などの縛りが大きいのではないかと、もともと農家に安価で堆肥を提供し、思い切った農業施策はできないのか伺う。

令和6年10月にはバイオ液肥濃縮施設が稼働する。現在散布方法、配分、料金等検討中のような感じがしかりと検討して循環型農業を進めて頂きたい。

答 太田市長

真庭市としては、昨年度堆肥の市内での活用を進めると同時に、この価格高騰にも対応するという事で、真庭市堆肥等利用促進事業補助金を改正している。一定の条件はあるが堆肥購入費、散布費用を含めて3分の2を補助する有利な制度だと思っている。



蒜山堆肥センター 蒜山西茅部

ところが、まだ十分周知できていないのか、面倒なのか農業者はこの補助金が低調な状態である。

補助金制度あるいは堆肥利用のメリツを周知していきたいと頑張っていく。

なお、現在蒜山農業公社がこの事業を行っているが、さらに組織機能を強化して、蒜山以外に拡大して、真庭市全域で活躍出来るように目指していく。濃縮施設はバイオ液肥を作るだけじゃなく、使っていたことで資源循環をして真庭の農作物の価値、そして農業所得を上げていくことも目指し頑張っていく。

大月 説子

問

災害時要援護者への支援を



真庭市を線状降水帯が通過し、予期せぬ災害が発生する危険は高まっており、特に災害時要援護者への支援を十分に検討し、周知を図っておく必要があると考え5点を問う。

①避難行動要援護者の数と個別避難計画の策定状況②福祉避難所の収容人数③医学的見地を含めたトリアージ④真庭市避難行動要支援者避難支援プラン全体計画の周知と活用⑤私の避難プラン作成者名簿の地域での共有。

答 太田市長

①名簿の登録は1,300人で私の避難プラン作成者は878人。

②福祉避難所は12か所で、収容可能人数は最大で139人。

③トリアージは、避難所に配置あるいは巡回する市の職員、主に保健師が行って



美味しい給食を届けています

いる。必要なら要配慮者がいる場合、災害対策本部に報告して移送する。

答 樋口健康福祉部長

④計画を改定した後のことも含めて、医療関係者、介護関係者、ケアマネ、自治会に再度周知をしていく。⑤個人情報提供する場合は、提供の依頼をいただき、その誓約を取った形で提供している。どうゆう風に共有するかも一度洗い直しを進めていく。

問

学校給食に児童生徒の意見の反映を

個人の嗜好もあるが、児童や保護者から給食が美味しくなくなったという声が聞こえてくる。学校給食は、児童・生徒の楽しみの一部だろうと

答 三ツ教育長

栄養教諭が学校に出向いて、給食時の食育指導や児童・生徒が喫食する様子を観察して意見や嗜好の把握に努めている。また、児童・生徒の意見を反映したセレクト給食にも取り組んでいる。

浅野 和昭



問

久世地域へ銭湯を

市民の方からいただく要望の一つに、久世地域にも銭湯が欲しいという声がある。地域住民の交流と憩いの場として久世地域に浴場ができれば、拠点施設としての役割も大きく、職員を地元から雇用すれば、地域経済への貢献度は高いと考える。高齢者の交流の場となると共に、高齢者

のひきこもり防止、健康づくり、介護予防にも繋がる公共財だという考えもある。

答 三ツ教育長

家族との利用、年末年始の帰省では親類同士など、様々な利用方法があり、多くの市民の健康増進に寄与すると思う。久世地域へ銭湯やサウナがあれば利用したいかというアンケートを取って、ニーズを確認していただけないか。

答 太田市長

市民の要望があるからどうなのかというようなものではない。真庭市として設置を前提にするような検討だとか、アンケートをする考えは全くない。

問

市内の事業者支援

真庭市内の事業者へ行われた事業者エネルギー価格高騰緊急支援事業等は、今後もう事は検討しているか。

答 太田市長

市の財政の事もあり公共としてどこまで、何に支援するのかという議論があると思う。現象面だけで何かをして



蒜山やつか温泉快湯館の様子 蒜山上長田

問

真庭市立園

真庭市内の園において地域協定や協議などが必要となる事があると思う。そうした事への対応として市としてガイドラインを策定し、園単位で保護者や地域住民の声が速やかに反映される仕組み作りが必要であると考えている。市が策定する事について所見を伺う。

答 樋口健康福祉部長

こども園の案件であれば保護者の中で意見をまとめた上でと考えている。

妹島弘和

問



やまびこスタジアムの
改修

真庭やまびこスタジアムは2005年岡山国体の軟式野球競技の会場として使用された、西日本初の全面を人工芝で覆われた野球場である。

しかし、開設以来19年を経て自慢の人工芝の劣化が著しい。選手たちの足への負担も大きく、けがをする危険度が高まっている。

今後市内外の選手たちが真庭やまびこスタジアムに集い、素晴らしいコンディションの下で元氣いっぱいプレーができ、思い出に残る大会がここ真庭の地で行われ続けるようにすべきである。

①市として人工芝の改修の考えはあるか。

②緊急的かというと言葉がでているが時期は「いつ」なのか。

③スコアボードも甲子園では2011年のシーズンからボール・ストライク・アウトのBSOになっている。真庭市は事業の取組みでは先進地



真庭やまびこスタジアムの全景 三阪

であるから早く改修すべきである。

答 太田市長

①やまびこスタジアムは、アクセスの問題はあるが環境では私は抜群だと思っている。可能な限り、やまびこスタジアムを魅力あるものにしていきたいという思いだ。野球をしている選手たちが、整備が

不十分で負傷することがあつてはならない。選手の安全を

第一に考え緊急修繕をやつていく。誇るべき球場なので、できたら中国地方の関係者には使っていただける、そんな球場として今後とも大事にしていきたいと考えている。

答 池田生活環境部長

②今年度の予算の範囲内で修繕を行っていく。

③施設ができて20年ということで人工芝、電気設備についても専門家を入れて検討をしていく。

妹尾智之

問



災害時における
非常用電源は

近年、気候変動による災害の激甚化や頻発化に対して、人の生命を守るための対策強化が必要である。万一災害が発生したときに、各自治体の庁舎等は災害対策本部を設置し、住民避難に係るサポートや被害状況の的確な把握などの要となり、業務継続性の確

保は極めて重要となる。災害発生時に、災害対策本部が設置される庁舎、各振興局、避難所等が停電となった際に、非常用電源が確保されているのか。

答 太田市長

災害対策本部を担う本庁舎については、災害対策本部となる会議室とかサーバーへは100%、その他の事務へは通常20%程度の電源を72時間供給できるように自家発電設備を整備している。現地

の対策本部が設置される各振興局では、整備した年度等で、当時の施設利用の考え方や基準によって電力の供給範囲、供給時間に違いがあるものの、自家発



真庭市役所本庁舎に設置している非常用発電機

電設備は整備している。

避難所も、一部の避難所に非常用電源や蓄電池が整備されているだけで、ほとんどの施設に非常用電源設備が整備されていないというのが現状である。今後、非常用電源が未設置の避難所においては、これまでの使い方の現状とか、今の設備を把握して、非常用電源をなるべく早く、計画的に、整備していく。

柴田 正志

問

110年前の植物標本を
100年後の未来へ



110年前に採集された植物標本

旧勝山図書館の解体の際に110年以上前に久津見肇氏が勝山周辺だけでなく蒜山辺りも含めて採集された約700の植物標本が見つかった。この植物標本は真庭市の大事な財産として、よい状態で未来へつないでいくべきと考ええる。現在この植物標本は津黒いきものふれあいの里で保管されているが植物標本の保管に詳しい専門家からは、空調面などから保管場所として不安があるという意見だったと聞いている。100年後に向けて標本の適切な保管場所の検討が必

要であると考えているが市長の見解を伺う。

答 太田市長

旧勝山図書館から移管後は専門職員が標本ごとに個別に袋に入れて、必要な防虫剤や防湿材等の薬剤とともに整理用のボックスに収納するようにし、保管の状態を改善させた。空調までは大変で、そこまでする必要があるのかなと思っている。今できる最大限の適切な管理をしていく。置く場所は津黒にするが、本来は図書館に保管機能を持たせたら良いと思う。

問

子どもの健全な
遊び場設置の要望書

勝山地区で集められた8%人

の賛同者の署名とともに市長宛に提出された要望書がきっかけとなり、スケートボードなどのアーバンスポーツの理解促進が深まり環境整備につながって欲しいと願っている。

答 太田市長

人口減少の中で若い人が思い切り青空の下で遊べる環境、アーバンスポーツもできる、現代的な音楽が聴けるといふ、古い世代の価値観でないものが、どんどん入っている環境づくりは必要だと思っている。自ら自分たちのまちを作っていく、そういう若い人を作っていく。環境整備に一定のスピード感が必要で、ずっと検討というつもりはない。

岩本 壯八



建設業界への支援を

近年、地球温暖化等による災害の激甚化が顕著となり、多大な被害・被災者を出している。こうした災害発生時や復旧に際し、現場対応を支えるのが建設業界の方々だ。しかし、建設業界は様々な問題を抱えている。従業員の高齢化、人材確保ができない、多



市道新設工事現場 月田地内

養育費確保に支援を

問

①週休2日を前提にした工事の促進、前年度に発注準備を終え工事の平準化等に努めている。年間の発注予定を2回ホームページで公表。
②市工事への導入も積極的に図っていく。インセンティブも加点という形で付けていく。
③地域バランスを意識し、プロポーザル等の随意契約も積極的にやっている。

答 太田市長

コロナ禍により、大きな影響を受けたのがひとり親家庭ではないか。低い年収を補う要素が養育費の存在。養育費は、子どもの生活安定を経済的にサポートするためのもの。子どもと一緒に生活しない親は、養育費を支払う義務があるが、取決めをしていない、支払われないケースが社会問題となっている。行政としてサポートする考えは。公正証書を作成する弁護士相談を費用対象にまで拡大するかどうか検討したい。

森田 敏久

問

デジタル田園都市 構想実現の課題



①人口減少、少子・高齢化、産業・人口の東京圏への一極集中、地域産業の空洞化といった直面する課題に、デジタル実装を通じ社会課題解決、魅力向上をどう図っているのか。

②デジタル人材の育成確保により、企業移住にどう繋げ、



デジタル実装で行われる乗合タクシー チョイソコまにわ 本庁舎

地域企業へのマッチング、地方公共団体への人材派遣についての考えは。

③行政側としてサービス利用の学びの場の提供、障がい者に対するデジタル機器の紹介、貸出等の利用サービスがあるのか。

答

太田市長

①将来像を明確にしたまち・ひと・しごと創生総合戦略を基に有利な交付金、補助金は活用していく。21年にデジタル地域通貨導入、スマート農業推進、22年に公共交通デジタル実装事業、森林・林業dX推進事業など行った。これからも地域解決、地域課題の解決に努めていく。

真庭高校久世校地の利活用についても、具体的な検討を行い全国モデルになるような先進事例にしたい。

②デジタル人材が地方において育てられ豊かになる施策が不十分である。真庭市の中で人材を作らなければいけないと思う。情報公社に優秀人材を入れているが、真庭市

の職員として採用し、国の人件費、支援も活用している。

③機器を使おうという挑戦する気持ちがないと地域は変わらない。

真庭市にはデータサイエンスの人が多く入ってきているので、大手民間会社場所を貸したり、民間のデータ関係、IT関係企業誘致を図る。

答

木村総合政策部長

③シルバー人材センターでスマホ教室を開催している。障がい者の方については個別に対応している。

庄司 史郎

問



業務執行体制の 在り方を問う

新型コロナウイルス感染症の発症以来、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使った事業など、通常業務に加えて数多くの事業を展開してきている。職員はよく頑張りが大きく増えた業務もこなしてはきているが、心身ともに疲弊してきているので

はないかと危惧している。以前にも質問したが、令和4年2月28日に真庭市行政改革審議会から意見書が提出され、その意見書においても

職員の労働環境や人材育成について重要な意見があった。

そこで、以下の点について市長に伺う。

コロナ対策の最前線です。健康福祉部や産業観光部などの業務執行環境をどのように捉えているか。

人事担当部署である総務部に、業務の増えた部署から人員補充の要望や相談は上がってきているのか。

職員が疲弊しているとすれば、何か対策を考えているか。

答

太田市長

通常の業務しながらの緊急事態、それも長く続いたわけで、職員の頑張りには感謝している。限られた人的資源の中で役割分担をして業務を行っていくことで、局部的には負担が増加してきたという事実もある。



市役所の執務風景

では人員の増強を求める思いがあることも十分分かってい。業務が増えれば、疲れやストレスで負担を感じてしまうようなこともあるから、負担をできるだけ軽減できるように努めていく。

今年度から全部局を対象にヒアリングを行い、必要な人員や求める専門人材などを再度把握するようにしている。職員同士がプライバシーを守りながら、明るくコミュニケーションが取れる職場づくりに取り組んでいけるよう、組織全体として意識付けをしていきたいと考えている。

伊藤 義則

問

関係人口の取組と
小規模校



徳之島へ行った。目的は高い合計特殊出生率を誇る天城町と伊仙町の施策を調査研究するためだ。天城町と伊仙町の合計特殊出生率が高い理由をまとめると①天城町は結婚から出産・子育てに関して40事業を行い一般会計当初予算の約10%を占める。②両町ともふるさと納税を8,000万円から1億円の寄付を受け、そのほとんどを子育て支援で活用している。③「子は宝」「結いの精神」「豊かな自然環境」の上に「地域力」小規模校を維持し、継続的な行政支援がある。④天城町では毎年10歳から30歳までの若い人が60人から70人移住している。⑤子育て世代の同居率は低いが近くに親が住んでいて子どもを見てくれる。⑥天城町の子育て世代年収は約268万円だが家業を継ぐことも出来るし農業で生計を立てることも出来る。次に注目した

のは関係人口を増やすために行ってきたことである。スポーツ合宿受入誘致である。昨年度実績で8,974人

これは天城町の人口の1.6倍に当たる。30年来にわたるトラ

イアスロン競技の開催。今年度実績49人。ふるさと納税件数である。市長に現在取組んでいる関係人口の事業評価と教育長に小規模校化にどう対応するかを伺う。

答 太田市長

一例をあげると地域おこし協力隊の定着率78・2%となりわい塾で132名の卒業生の内18名が移住している。

関係人口のイメージ

定住人口

・定住者

関係人口

・真庭市に魅力を感じて行き来する人
・地域外の人材が真庭の人々と一緒に魅力づくり地域づくりをする

交流人口

・観光者

素晴らしい人材が良い影響を与えてくれ大きな力になっている。魅力ある真庭を作り関係人口を増やす。

答 三ツ教育長

真庭市では一層の小規模化が進んでいる。小規模校の運営には学校、行政の支援に加えて地域総がかりで子どもを育むことが大切になる。小規模校の課題解決のため他の学校と交流・山村留学に取組み、関わる地域も元気が出る好循環を作っていく。こういう取組も関係人口を築く。

黒川 愛



問

鏡野風力発電の影響は

鏡野町の富・羽出地域で風力発電が計画。風車は最大25基、全長180m、羽根直径136m、25年から工事開始予定。蒜山の自然と目木川への影響が心配。

風車が大きいので、道路工事が必要。風車の場所だけでなく、大きな道路を造るときにも、色々な影響が出てくる。真庭市



鏡野風力発電の影響が懸念される山乗溪谷 蒜山下和

は蒜山で自然を頑張っている。真庭市の力を発揮し、積極的に注視を。

答 太田市長

専門家の意見も聞きながら、意見書を県に提出する。

問

農業の担い手不足は深刻

農業の移住・住宅支援が必要。高齢化、耕作放棄地の増加、多発する自然災害。産業や経営としての農業だけでなく、地域を守っていくため、働き盛りを過ぎた世代も含め、農業従事者の確保・支援は急務。

答 太田市長

産地形成と担い手確保、育

成を戦略的に実施するため、9月補正予算をお願いしている。

問

デートDVが増えている

内閣府2020年調査では、女性の約6人に1人、男性の約12人に1人が、デートDV被害経験がある。真庭市は人権擁護委員が昔からデートDVに取り組んでいるが、真庭市の子どもも大人も、デートDVや性暴力の被害者、加害者、傍観者にしないため、ならないための取り組みを。

答 太田市長

デートDVの防止は重要。幅広い年代層への啓発、SNS活用など、相談しやすい環境づくりも行っていく。

答 三ツ教育長

性犯罪、性暴力は人の尊厳を著しく傷つけるもので、断じて許されるものではない。教育課程の中で着実な実施を進め、参観日等を利用して保護者と情報を共有し、啓発を通じて地域全体で子どもたちの人権を守る機運を醸成する。

森脇 正和

問



「風のパレットHIRUZEN」

①自然の景観を活かす公園であると思うが、隣接する建屋が見える。境界に植樹、グリーンのネットなど蒜山三座を眺

める景観に配慮する考えはないか。

②トランポリン遊具は、6歳から12歳用である。今後6歳未満の子どもが外で遊べる遊具などを設置する考えはないか。

③隣接の蒜山スポーツ公園の芝生広場に遊具があるが、使用禁止になっている。今後どうするか。



真庭市蒜山高原自然広場入口 蒜山上長田

答

太田市長

④年間利用者は何人を想定しているか。

①隣同士であり景観に配慮した対応をしていく。

②この広場の方針は、最低限の物は置いて、あとは広々としたところで創意工夫して遊んで欲しい。小さい子どもも大勢来ることを前提に施設を管理する団体と相談していく。

③早く撤去するよう指示した。

④令和8年ぐらいに1万7千人ぐらいを考えている。

吉原 啓介

問



農地荒廃化がもたらす影響への対策

市内においては近年、まちなかの農地の耕作放棄、荒廃化も目につく。

空き家も問題だが、こういった荒廃農地も住環境の悪化を招くとともに、市の景観にも大きな影響を及ぼすことになる。

また、耕作放棄と密接に関係

する農業者の減少、高齢化により、農業者が維持管理してきた農用通路や水路の維持管理も困難な状況になっている。

耕作放棄、荒廃農地化は、従来問題とされていた農業生産活動や集落維持の問題だけではなく、広い範囲に深刻な弊害を及ぼすことが危惧されるが、どのような対策を講じていくのか。

まちなかを通っている農業水路は生活雑排水が流れ込む水路でもある。社会インフラとして、市が何らかの形で関与していかなければならないのではないかと。

農業公社の機能拡大というものも含めて伺う。

答

太田市長

荒廃農地は、景観上、また病虫害の発生や不法投棄、野生の動物のすみかになるというようなことを含めて、その周辺に悪影響を及ぼす深刻な問題だと思っている。

農業戦略調査分析事業も活用し、課題解決のための調査分析を通じて、荒廃農地の発生防止をしていく対策を講じていきたいと思っている。

農業水路も、担っている



ある程度の規模があれば管理がしやすい 落合垂水

答

石井産業観光部長

方々も高齢化が進む中、現実はどうしていくのかというのは本当に深刻な問題であるということの共通認識をしておきたいと思う。

水路の問題、あるいは草刈りの問題といった農業を継続する上での課題の解決といった守りの政策、課題に対しては、JA、行政、そして公社、それから県がどう連携して役割分担を持ってやっていくかということを考えていきたいと思っている。その中で公社の機能強化については検討していきたいと考えている。

委員会の紹介

議会活性化推進特別委員会設置 議長を除く22人、3部会で構成

委員長 妹尾 智之

昨年、早稲田大学マニフェスト研究所が実施した議会改革度調査に於いて回答のあった、1,416議会中、第38位と非常に良い評価をして頂きました。これに驕れることなく、議会改革を進めていくために、議会活性化推進特別委員会を設置し、その中に、議会活性化推進立案部会・議会ICT化推進部会・議会活性化検証部会の3つの部会を立ち上げ、議員一人一人が更なる議会改革に取り組んでまいります。

議会活性化推進立案部会

部会長 庄司 史郎

真庭市議会では今日まで議会活性化策15項目を策定し、議会改革に取り組んで来ています。その結果、早稲田大学マニフェスト研究所が行っている議会改革度調査において、調査回答した1,416議会中（全地方議会の79%）第38位にランクインされました。

議会活性化推進立案部会では、この順位に満足することなく、現在の議会の有り様を振り返ると同時に、これからの議会のあるべき姿を考え、更により市民に開かれた議会、市民に信頼される議会とするために、新たな議会改革策の立案に向けて取り組んで参ります。



左から 柴田 福島 伊賀 大月 庄司 伊藤 岩本 加藤 妹尾 氏平

議会ICT化推進部会

部会長 黒川 愛

真庭市のICT部会は、真庭市議会で活躍が続いており、タブレット端末導入も他市と比べて早かったです。「デジタル」「DX」が何でも解決するわけではありませんが、デジタル社会は急速に進んでいます。

議会がどのようにデジタルを取り入れ、進化していけるのかを学び、考えていきます。そして、前部会からの引継ぎ課題とあわせて、市民の皆さんに議会を身近に感じてもらうためのICT・オンライン活用に、部会メンバー6人で取り組んでいきます。



左から 浅野 森田 黒川 緒形 西田 吉原

議会活性化検証部会

部会長 妹島 弘和

議会活性化検証部会では平成28年から議会活性化についての取組み状況の評価、検証を毎年行っています。

9月には今後の取組み内容及びスケジュールを協議する部会を開催し、検証と議員対象の「議会基本条例に関するアンケート」の分析結果を踏まえて、任期の2年間で現在の活性化策の精査を行い、改訂をも検討していきます。



左から 後列 入澤 長尾 中尾 古南
前列 妹島 森脇

議会広報編集特別委員会

委員長 浅野 和昭

議会広報編集特別委員会委員長の浅野です。校正と校閲の違いも分からない状態から委員長となりましたが、先輩委員から文字色の効果や写真のバランス方法などを教わり、市民の皆様へ読みやすく分かりやすい編集に努めています。「市民の広場」のページでは、市内各地の写真やお子さんの絵なども掲載しています。良い作品があればぜひご応募ください。未成年の方も含め、広く市民の方々へ親しまれる広報紙を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。



後列 氏平 加藤 西田 森田
前列 浅野 森脇

GIKAI NO UGOKI

議会の動き

7月 8月 9月

ファシリテーションの研修

ファシリテーションとは「引き出す力」で、具体的には「支援する」「円滑にする」「促進する」「助長する」という意味です。この事により、相互理解、自己主張をして関係を構築し、意思決定に繋がって行く事になります。結果として、対話の必要性が求められてきます。社会の多様性が高まる時代に生きて行く上で議員の誰もが行って、議会と市民のより良い関係づくりを構築しなくてはならない。研修を通じ学んだ事です。



ワールド・カフェ方式での研修 本庁舎

市民と語る会の進め方を協議

8月28日、議運委員長の進行で班長副班長会を行い市民と語る会の進め方を協議しました。①付箋紙に意見を書き、それを黒板に貼り話を展開する。②模造紙に意見を書き、違う所に行って意見を追加書きし、元の所に戻って話し合う。①②を参加人数で各班が決める事にしました。ご協力をお願いします。

総務が真庭高校久世校地の視察

8月23日に県教育委員会と真庭高校副校長及び総合政策課から今年度末をもって統合される、久世校地の現地説明を受けました。農業用地や教育施設、加工施設など総面積約71,730㎡と大小59棟の建物があるということで、校舎の4階から全体を見た後、敷地を歩いて牛舎やビニールハウス、加工施設や農業機械の倉庫を視察しました。



真庭高校久世校地を視察 中島

文教が中学校校長会と意見交換会

7月11日、勝山文化センターで市内の中学校長6人と文教厚生常任委員7人が意見交換会を行いました。副委員長が会を進行し、元校長の議員が会を閉めた85分間でした。いじめ問題、高校進学、学力問題などシビアなテーマを参加者がたくさん話しました。政策提言はいじめ問題に絞り、先進地視察を羽島市と掛川市を予定しています。



市内中学校長との意見交換会 勝山文化センター

産業建設委員会・建設業協会 真庭支部意見交換会

8月10日産業建設委員会委員7名と建設業協会真庭支部役員9人による意見交換会が建設業協会真庭支部において開催されました。協会側からは、安定した仕事発注の要望、緊急要求随意契約のアップ、生コン工場の減少の悩み等が委員会側も物価高騰の影響等の質問がありました。



建設業協会真庭支部との意見交換会 勝山

MANIWA

SHIMIN
NO
HIROBA

市民 の 広場

ここは市民みんなで
つくるページです
楽しい気持ちでご参加
ください 敬称略



三平山からの雲海 カタクリ



とーまくんです。 桃太



真庭の日奈子 久美哲



アートアクアリウム 紀由香



川東公園のヒガンバナ DAIGO



風薫る yoshiko



古民家でハンドパン YOKO

議
会
広
報

募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。
住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてある必要があります。
応募先▶真庭市議会
宛先は20ページの帯欄に記載しています

12月定例会は

12月5日(火)から12月21日(木)

12月5日(火) 本会議(開会・議案上程・提案説明)

8日(金) 本会議(一般質問)

11日(月) 本会議(一般質問)

12日(火) 本会議(一般質問・議案質疑)

13日(水) 14日(木) 15日(金) 常任委員会

18日(月) 予算審査特別委員会

21日(木) 本会議(委員長報告・採決・閉会)

■会議は通常午前9時30分に開会します。

■正式には11月27日(月)の議会運営委員会で決定します。

令和6年3月定例会の請願陳情は1月31日(水)まで

令和6年3月定例会の請願と陳情の受付は令和6年1月31日(水)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。

ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

真庭市議会HPをご覧ください



真庭市議会HP



真庭市議会FB

真庭市議会広報まにわ 第74号

すよと一枚

第20回落合まちかど展覧会より



春風 松下育子さん

問題 市民と語る会 〇年ぶり開催

GIKAI Quiz ざかいクイズ

正

解者の中から7人に「美甘おわ(2合セット)」が当たります。

はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。締切：11月30日(木)消印有効。前号の応募総数は54通で、正解者54人。ご応募ありがとうございました。



議会まにわ

色々3題

●二元代表制：首長と議員はどちらも選挙で選ばれ良い町にするため、時に意見が食い違う事がある。隣県某市議会が何度もYouTubeに登場する。話題の市長・議員を完全論破、○で決算不認定、そのレベルで議長？等々、一度見る価値有り。●不信任案可決：四国某市で副議長が辞任し議長不信任案を提出。別議員が賛成討論をし8対6で可決。不信任案可決に法的拘束力はない。8人の議員は次の議会を欠席、詳しくはSmartNewsで。首長の場合は10日以内に議会を解散できる(地方自治法)◆議会改革って何ですか：議会クイズの葉書にありました。住民の声を行政に活かせるように、議会の構造や考えを変えていく取り組みの事、開かれた身近な議会を目指します。◆4年ぶりに市民と語る会を開催します。私たちは予算を持っていませんが議決権を持っています。地域の課題や夢を聞くため、勉強するため12会場へ出向きます。真庭市政についてお話ししましょう。◆今回の表紙は綺麗ですね、褒められると嬉しい。◆議会クイズの景品予算は1回一万円です。お勧めの品をちよこつと書いて！参考にします。(氏平)

傍聴

テレビ等に映ることがあります。ご了承ください。

真庭市議会を傍聴しに是非お越しください。真庭市役所4階の議場入口で、住所氏名、年齢をご記入いた

MITをご視聴ください 真庭市議会定例会は、真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル(122)で生中継しています。一般質問や各常任委員会付託案件審査は録画し後日放送しています。

議会改革は更なるステージへ

令和5年11月1日発行 〒719-1329 2 発行 真庭市久世2927-2 真庭市議会

TEL (0867) 42-1272 FAX (0867) 42-1420 URL https://www.city.maniwa.lg.jp/ (真庭市ホームページ) Eメール gikai@city.maniwa.lg.jp